

普及活動情勢報告（平成 24 年 3 月分）

安芸農業振興センター 農業改良普及課

情勢報告

JA 土佐あき柚子部吉良川支部が剪定講習会を開催



ユズを囲んでの講習風景

JA 土佐あき柚子部吉良川支部では、2 月 24、27 日に管内 4 ヶ所で剪定講習会を開催し、49 名の生産者が参加して剪定技術を学んだ。

講習会では営農指導員、普及指導員が講師となり、作業性向上のための樹形改造方法、幼木の仕立て方などについて、実際に剪定・誘引作業をしながら説明した。生産者からは、樹高の切り下げ位置や誘引の角度など、具体的な質問がたくさん出され、活発な講習会となった。今後の現地検討会では、剪定した樹の生育状況を生産者に見てもらい、剪定作業の重要性を示していく。

室戸海洋深層水ナス、大阪で試食宣伝を実施



スーパー店頭での試食販売

室戸海洋深層水ナスブランド化協議会は、3 月 10 日、11 日の 2 日間、大阪府のいかりスーパー豊中店で生産者 1 名と高知県園芸連、振興センターによるナスのピザを使った試食宣伝を実施した。

ナスの食べ方は「焼きナス」「煮びたし」「天ぷら」しか知らなかったという消費者が多く、試してみたいと手に取る人が多くいた。また、「ナスは嫌い」「家ではあまり食べない」と言う子どももすんなりと食べていた。

一方、生産者も消費者の求める「わかりやすさ」を直接学ぶことができた。生産者と消費者が直接交流することで産地側からの情報発信すべきことがあるとわかり、今後の活動のきっかけづくりとなった。

振興センターではこれからも生産者による PR 活動を支援していく。

芸西小学校で花き生産者による花き出前授業



次はどうするの？生産者の先生の言うことに注目

3 月 19 日に芸西小学校 6 年生 30 名を対象に花きの出前授業を行った。授業講師はブルースター部会副部長が行い、コサージュ作成指導には同部会の女性陣のうち 5 名が駆けつけた。

芸西村の花の歴史や生産状況を勉強した後、22 日の卒業式に付けるコサージュを同村で生産された 5 種類の花を使って制作した。始めは戸惑っていた児童たちでも、わかりやすい講師陣の説明、補助で難なく完成させ、胸に当ててうれしそうだった。

振興センターは、未来の農業を担う子供たちに今後とも積極的に楽しい、きれいな夢のある花き園芸農業を PR していく。

北川村くぶつけ集落営農組合定期総会の開催



定期総会の様子

北川村くぶつけ集落営農組合の定期総会を3月23日に開催した。当日は委任状を含む21名が出席し、平成23年度事業実績や決算報告、次年度計画について協議され、全ての議案が承認された。

組合設立後3年が経過し、作業受託やユズ部会の活動なども定着してきたが、役員の高齢化もすすんでおり、新たなメンバーの確保などが課題となっている。

振興センターでは、自立した組織運営に向け、関係機関とともに支援をしていく。